

# 「一人1台端末活用」の手引き

本研究で実践した「一人1台端末の活用方法」を紹介します。活用方法は次の3点です。

- **A** 感想や考えたことを共有する
- **B** 問いをもつことに活用する
- **C** 静止画を撮り登場人物の変容をつかむヒントとする

# A 感想や考えたことを共有する

## タブレット端末（付箋機能）

### 1 班

#### 初発感想（黄色）

〇〇なんて、登場人物の□はおくびょうものだと思った。

□はおくびょうなのに、いざという時にはすごいなと思った。

□はこわがりなのに△のためにがんばっていて感動した。

△のことを思っていて、□はやさしいなと思った。

初発の感想をグループ毎に1枚のシートで共有します。

### 2 班

#### 初発感想（黄色）

□が△を助けるために○を呼びに行くと心がこった。

☆を△といっしょにしている場面から、□と仲がいいなと思った。

○が☆になる場面が心がこった。

どんな時にもくじけずに○を呼びに行ってくれと思った。

他のグループの感想も手元のタブレットで見られるので、自分の考えと比べることもできます。

手元のタブレットで学級全員の感想を共有



感想や考えをもつことに生かす

## B 問いをもつことに活用する

### タブレット端末（付箋機能）

#### 1 班 疑問（緑）

なぜ△は勇気があるのに、□はおくびょうものなのかな。

どうして△はおくびょうなのに、○を呼びに行けたのかな。

□はなぜ夜になるとおくびょうになるのかきもんに思った。

なぜ△は、「・・・」だと言ったのかふしぎに思った。

物語を読んで疑問に思ったことをグループ毎に1枚のシートで共有します。

#### 2 班 疑問（緑）

なぜ□は、・・・という行動を取ったのかな。

なぜ夜になると・・・してくるのかふしぎに思った。

なぜ□は・・・ということをつぶやいたのかな。

なぜふだんはおくびょうなのに、・・・ができたのかな。

他のグループの疑問も手元のタブレットで見られるので、自分の疑問と比べることもできます。

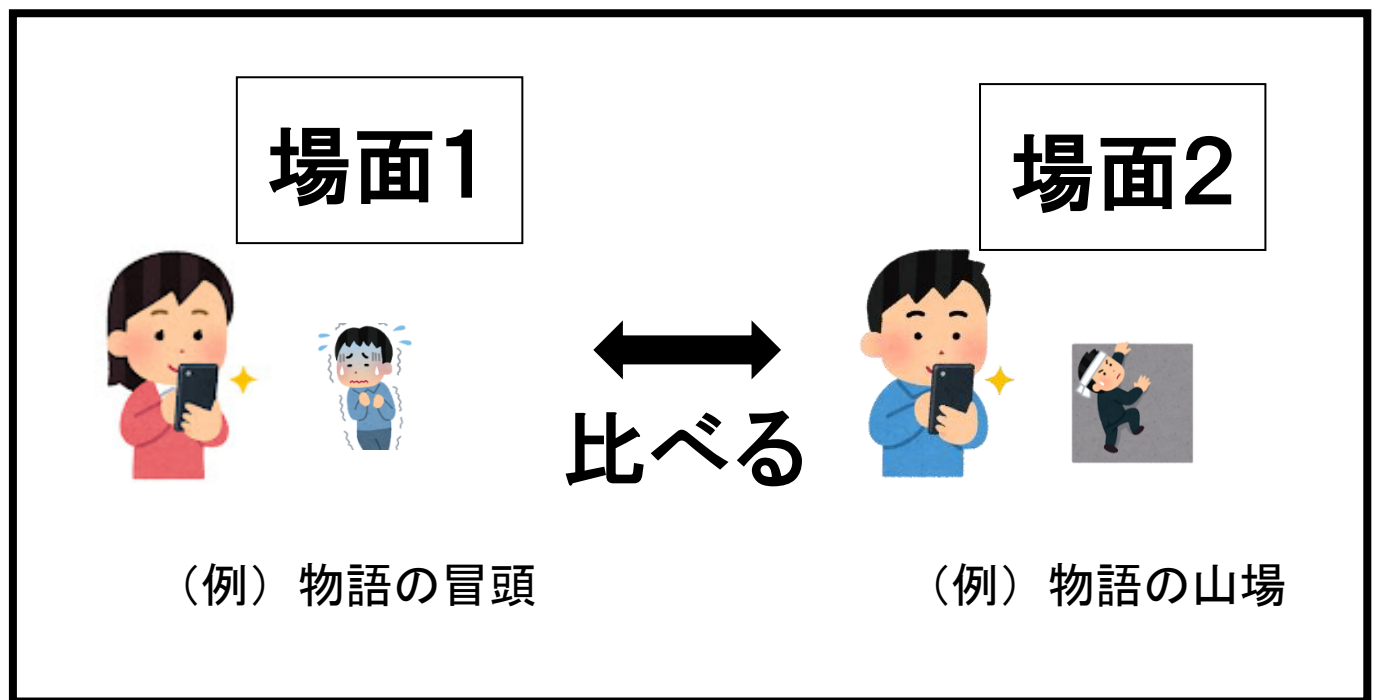
手元のタブレットで学級全員の疑問を共有



学級全体で解決したい「問い」に練り上げる

## C 静止画を撮り登場人物の変容をつかむヒントとする

### タブレット端末（カメラ機能）



- ①場面ごとに登場人物の様子がよく分かるような一場面をグループで創作する。
- ②タブレット端末のカメラ機能を活用して、静止画を撮る。
- ③場面ごとに撮りためた静止画を比較する。

**場面の移り変わりとともに変わる登場人物の変容を読み取る際に、撮りためた画像を比較することもヒントとして活用する**